

農商工連携等の推進と新商品づくりに向けた現地研修会の報告
＜令和2年11月19日(木)：栃木県食品産業協会＞

今回の研修会は、地域ブランド農産物の利活用の推進、商品開発や販路開拓などに取り組む先進事例を調査し、新商品づくりや食品関連産業の振興に役立ててもらおう目的で実施しました。

○大田原とうがらしの郷づくり推進協議会（大田原商工会議所内）〔大田原市山の手〕

大田原市における「とうがらし」による地域づくり、「とうがらし生産量日本一」宣言までの軌跡、「栃木三鷹」等を活用した地域づくりなどについて研修しました。

＜写真：研修会、唐辛子サンプル、唐辛子栽培＞



○株式会社壮関〔矢板市こぶし台〕

(株)壮関の経営理念と概要、地域特産品を利用した商品の開発と企業戦略、県内農産物（サツマイモ）等を活用した新商品開発などについて研修しました。

<写真：研修会、製造現場見学、販売商品>

